



市会 関 勝則
議員 せき かつ のり

「地域のチカラ」を、
提案・実践。

◎市会 委員会報告◎

<http://関勝則.com>

28
年度
事業

子ども青少年・教育委員会

5月17日に第2回定例会が招集され、28年度の横浜市会がスタートしました。同時に新たな委員会構成も決まり、私は「こども青少年・教育委員会」と「大都市行財政制度特別委員会」に所属することとなりました。翌18日には初委員会が開かれ両局より今年度の事業概要説明がありましたので、ご報告いたします。

こども青少年・教育委員会は、各会派から11名の議員により構成された常任委員会で、青少年育成、保育所整備、児童福祉、学校教育、生涯学習等、子ども青少年局と教育委員会の事業について審査を行います。

こども青少年局の重点施策

- ① 保育所待機児童解消の継続 全市一律の対応では待機児童解消が難しくなっているため、区局が連携し、地域の実情に応じた対策を講じる。そして、保育・教育コンシェルジュが個々の状況にあった保育サービスを提案する。
- ② 子供・子育て支援新制度におけるすべての子育て家庭への支援 地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業など、在宅を含めたすべての子育て家庭への支援を推進する。
- ③ 放課後児童支援策の充実 すべての小学校で「放課後キッズクラブ」への転換を進め、「放課後児童クラブ」に対する支援を推進し、子供たちの19時までの居場所を充実させる。
- ④ 児童虐待防止への取組の充実 児童虐待の発生予防から重篤化・再発防止への対応、社会的養護の推進を図る。
- ⑤ 困難を抱える若者支援策の充実 ひきこもりや無業といった困難を抱える若者の自立に向けた相談支援、生活訓練や就労体験など、状況に応じた支援策を推進する。
- ⑥ 子供の貧困対策の推進 生活困窮状態やひとり親家庭など困難を抱える子供の生活支援・学習支援や生活の安定に向けた支援を充実する。

教育委員会の重点施策

- ① 国際都市横浜の時代を担うグローバル人材の育成 市立高校生の海外大学留学支援(28年度は1、2年生を対象)の実施。英語力向上のための英検等の実施など。
- ② 子供と向き合う時間の確保 課題を抱える児童生徒の問題解決のための弁護士相談体制や、スクールソーシャルワーカーの配置を進め、教職員が子供としっかり向き合える環境を整える。
- ③ 教員の資質と能力を高める取組 経験の浅い教員に対し支援員を派遣し、早期に実践力を高める。教員の海外研修派遣を拡充する。
- ④ 学校生活のきめ細かな支援 いじめの根絶や不登校の減少を目指し、養護教諭有資格者の配置や学習支援活動などを進める。
- ⑤ 安全・安心な教育環境の整備 小中、中高一貫校の整備、肢体不自由特別支援学校の再編整備を進めるとともに、より良い教育環境の実現を目指す。

教育委員会では平成26年12月に「第2期横浜市教育振興基本計画(5か年)」を、こども青少年局では27年3月に「こども・子育て支援事業計画(5か年)」をそれぞれ策定しました。

これらの計画をもとに、横浜の子供たちの健やかな育ちを支援していくこととなりますが、この一年は両局が取り組む様々な施策について検証し、子供たちの輝かしい未来に向け邁進してまいります。